

令和 7 年度 政務活動費支出整理簿

会派名 公明党

氏名 高橋 正人

項目	研修費		支出内容
費目	旅費		
整理番号	月	日	支出額(円)
1	3	26	98,440
			地方議員研究会セミナー 旅費・宿泊費（京都府京都市） （日程、場所等は調査視察等届出書等に記載）
1-1	/		JR乗車券・特急券 八戸⇄京都 京都市宿泊代 ※旅費上限額98,440円
	/		
	/		
	/		
	/		
	/		
	/		
	/		
	/		
	/		
	/		
	/		
	/		
	/		
	/		
	/		
	/		
小計			98,440
合計			98,440

※案分による支出の場合は、案分率等を支出内容欄に記入してください。

第3号様式（第6条、第8条関係）

令和8年3月5日

会派名 公明党
代表者名 中村益則様

氏名 中村益則



調査視察等届出書

八戸市議会政務活動費の取扱いに関する要領第6条第1項の規定により、次のとおり届出します。

- 1 旅行者 中村益則議員
- 2 期間 令和8年3月26日（木）～令和8年3月28日（土）
- 3 場所 京都府京都市
- 4 目的及び内容 地方議員研究会
・若年層を取り巻く雇用環境と結婚支援政策の問題点と課題
・人口減少社会における出産と子ども・子育て支援政策の問題点と課題
- 5 支出可能額（上限額） 98,440円
【内訳は、旅費額計算書（第4号様式）に記載のとおり】

第4号様式（第6条、第8条関係）

旅費額計算書

旅行日程				旅費計算の基礎					
行	日	出発	到着	区分	基数	単価	金額	備考	
行	3/26	本八戸駅発	10:51	区分					
き	3/26	京都駅着	16:29	早見表					
帰	3/28	京都駅発	10:54						
り	3/28	本八戸駅着	16:30						
経路・滞在地 別紙のとおり				鉄道運賃	1151.6k	13,750	24,740	本八戸⇄京都	
				急行料金	特	2	6,270	12,540	八戸⇄東京 631.9k
						2	200	400	繁忙期割増 (3/26, 3/28)
						2	5,280	10,560	東京⇄京都 513.6k
						2	200	400	繁忙期割増 (3/26, 3/28)
				特別車両料金		2	5,600	11,200	八戸⇄東京 631.9k
						2	5,400	10,800	東京⇄八戸 513.6k
航空機									
連絡バス									
空港リムジンバス									
宿泊料		2	13,900	27,800	京都市内泊 (3/26, 3/27)				
小計							98,440		
合計 (小計×人数)							98,440	1名	

地方議員研究会
「若年層を取り巻く雇用環境と結婚支援政策の問題点と課題」
「人口減少社会における出産と子ども・子育て支援政策の問題点と課題」

・日程：令和8年3月26日（木）～28日（土）

・場所：京都府京都市

【中村 益則 議員】

月日	行程		宿泊地
3月26日 (木)	10:51発 本八戸 → (JR八戸線) → 11:00着/11:07発 本八戸 → (はやぶさ16号) → 14:08着/14:18発 → 東京 → (のぞみ421号) → 16:29着 京都 → (徒歩) → ホテル		ホテルトラ京都駅前 京都市南区西九条池ノ内町 94-3 ☎075-661-2355
3月27日 (金)	【研修会場】 京都 JA ビル 住所：京都市南区東九条西山王町 1 ホテル → (移動) → 10:00～16:00 京都 JA ビル → (移動) → ホテル		
3月28日 (土)	ホテル → (移動) → 10:54発 京都 → (のぞみ122号) → 13:06着/13:20発 → 東京 → (はやぶさ25号) → 16:13着/16:22発 本八戸 → (JR八戸線) → 16:30着 本八戸		

令和8年3月31日

会派名 公明党
代表者名 中 村 益 則 様

氏 名 中 村 益 則



調査視察等報告書

令和8年3月5日付けで届出した調査視察等を実施したので、八戸市議会政務活動費の取扱いに関する要領第6条第1項の規定により次のとおり報告します。

- 1 旅行者 中 村 益 則 議員
- 2 期 間 令和8年3月26日（木）～令和8年3月28日（土）
- 3 場 所 京都府京都市
- 4 行 程 3月26日（木）
本八戸～JR～八戸～JR～東京～JR～京都
3月28日（土）
京都～JR～東京～JR～八戸～JR～本八戸
- 5 支出額 98,440円
- 6 概 要 別紙のとおり

領 収 書 等 貼 付 用 紙

項目	研修費	費目	旅費	整理番号	/ - /
領 収 書 等 貼					
<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> <p>領 収 証</p> <p>2026年 3月 9日</p> <p>納 告 納 納 付 紙 税 申 告 納 税 紙 税 申 告 納 付 紙 税 申 告 納</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>2026年 3月 9日</p> <p>納 告 納 納 付 紙 税 申 告 納 税 紙 税 申 告 納</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>納 告 納 納 付 紙 税 申 告 納 税 紙 税 申 告 納</p> </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;"> <p>中 村 益 則 様</p> <p>金 69, 420 円</p> <p>ただし、乗車券類代 (クレジットカードによるご利用分)として、上記金額を受領しました。</p> <p>適用税率 10%</p> <p>東日本旅客鉄道株式会社 登録番号 T9011001029597</p> <p>本領収証は時間がたつと文字が薄くなる場合がありますので、 長期間保存する場合はコピーをお取り下さい。</p> <p>本 八 戸 八 〇 二 No. 000032</p> </div>					

※ 領収書等の原本は、用紙に重ならないように貼り付けること。

領収書等貼付用紙

項目	研修費	費目	旅費	整理番号	1-1
領収書等貼付欄					



住所：
 Agoda International Japan株式会社
 東京都港区
 虎ノ門 2-6-1
 虎ノ門ヒルズステーションタワー 28階

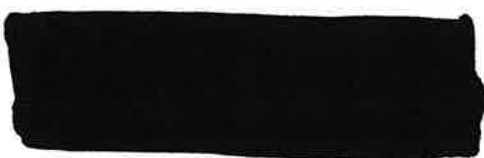
予約番号 1707596931
 支払日 March 22, 2026

領収書

宿泊者氏名 & 住所	
名前	Masunori Nakamura
E メールアドレス	[REDACTED]

記述		合計
ホテル名	Hotel Tetora Kyoto Station	
期間	March 26, 2026 - March 28, 2026 (泊数 : 2泊)	
部屋タイプ	[Non-smoking] Twin room	
部屋数	1	
エクストラベッド数	0	
客室合計金額		USD 185.50
エクストラベッド合計金額		USD 0.00
	総合金額	USD 185.50
	合計お支払い金額	JPY 29,532 (USD 185.50)

この領収書は自動的に作成されています。



旅費の支出額が上限額を超えたため、
 上限額98,440円を計上する。

調査の概要

報告者 中村益則

- 1 主催 地方議員研究会「人口減少対策」
- 2 日時 令和8年3月27日(金) 10:00~12:30 13:30~16:00
- 3 会場 京都 JAビル(京都市南区)
- 4 研修名 若年層を取り巻く雇用環境と結婚支援政策の問題点と課題

人口減少社会における出産と子ども・子育て支援政策の問題点と課題

<研修内容のポイントについて>

講師 甲南大学経済学部 教授 足立泰美氏

若年層の雇用状況の変遷。雇用と結婚並びに出産との関係。行政規模に応じた結婚支援政策の現状。人口構造の変化と子ども。子育て支援政策との変遷。乳幼児医療助成などの行政サービスの地域格差。待機児童問題における認可。認可外保育所に対する行政支援についてこれまでの取組を、公的機関が示すデータを中心に効果の検証を行い、今後の対策や支援の在り方を考える研修であった。

<研修を受けての所感について>

人口減少社会に対してこれまで国や地方自治体は様々な支援を行い、歯止めをかける対策を講じてきました。新年度も新たな子育て支援策を強化していますが、人口減少は続いて行きます。今回の研修では働き方、所得、将来不安が繋がって結婚できない社会を生んでいるのか。これらの問題を地方議会で変えられるとの認識を持つ内容の研修でした。

現在、どの自治体でも子育て支援や若者世代への支援の強化を図り、人口流出を防ぎ、移住定住を推進していますが、根本的な人口減少には繋がっていない状況です。

世帯構成も単身世帯や高齢者単身世帯が右肩上がりでも推移しており、夫婦と子供のいる世帯は減少していることから今後の政策の在り方の検討が必要です。改めて日本の人口減少の要因と対策について、また地方議員の役割と現状の支援策の効果を検証し今回の研修で投げかけられた課題に向き合い研究して参ります。